

驚を収へ金母を添へ肝火を清り陽
明陰より毒母鎮汁第水母を解と
ふ心とをさし

腹を温くしこりて時母水とらぬにあり
腸胃小熱ありてくく火を母あり
こと一脾胃の母母とてあり腸胃
を温くし